

SMART 情報ロギングツール (SMART Logging)

無償版

取り扱い説明書

2019/08/1

Ver1.1.0

SLG-02-190801

内容

1. 機能.....	3
2. 制限.....	3
3. インストール方法	3
4. 起動方法と終了方法.....	4
4-1. プログラムの起動.....	4
4-2. プログラムの終了.....	4
5. 操作説明.....	5
5-1. メイン画面	5
6. ログファイル.....	8

1. 機能

- ・ SMART※1 情報を定期的に取得しテキスト形式でファイルに保存する。
- ・ 指定した SMART 項目値の増減確認がリアルタイムで可能
- ・ プログラムはシステムにインストールする必要がなく実行可能
- ・ プログラム実行中はシステムに極力負荷がかからないように設計されている

※1 HDD や SSD に内蔵されている自己診断機能

2. 制限

- ・ 動作する OS は Windows 2000 以降(32Bit,64Bit 環境可)。ただし、左記環境であっても一部システムにおいてはプログラムが正常に動作しない可能性がある。
- ・ アドミニストレーター権限でプログラムを実行する必要ある。
- ・ SMART 情報の読み込みは SATA,PATA デバイスのみ。SCSI,SAS,NVMe デバイスは不可。
- ・ 1 回の SMART 値読み込みで 4Kbyte ほどの SMART データが生成される。
- ・ 無償版に対するユーザーサポートは行っておりません。

3. インストール方法

プログラムのインストールは特に必要なく、以下のファイルを同一フォルダに配置する

①SLOG.exe

②MSVBVM50.DLL

③SPTIDLL.dll

④SLOG.DAT ※

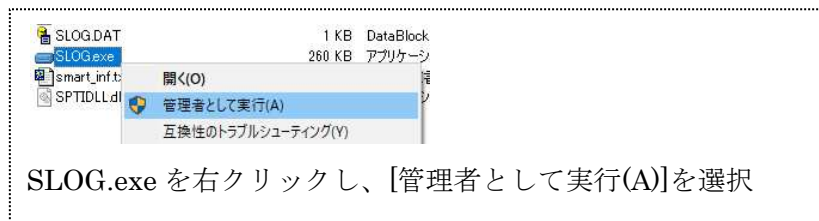
※このファイルが存在しないならプログラム起動時に自動的に生成される

SMART 値を読み込むシステム内のデバイスに上記ファイルをコピーして運用することも可能だが、ログの書き込みはコピー先のデバイスに書き込む為、結果的に SMART 値を確認するデバイスに本アプリケーションの影響が SMART 値に出てしまう。したがって本アプリケーションは USB メモリー等にコピーして運用し、極力 SMART 値を読み込むデバイスに影響を与えないようにする事を推奨する。

4. 起動方法と終了方法

4-1. プログラムの起動

SLOG.EXE をアドミニストレータ権限（管理者）で実行する

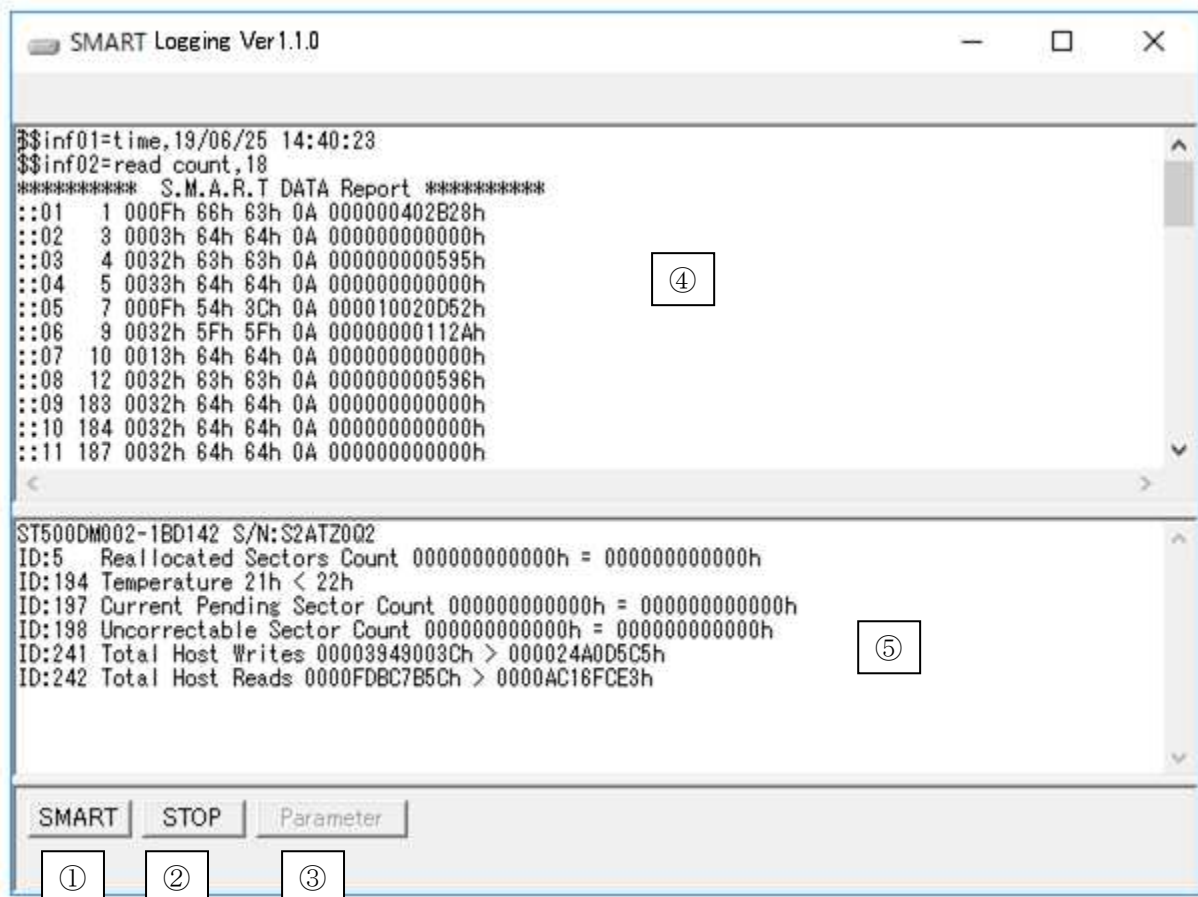


4-2. プログラムの終了

SLOG.EXE のメイン画面右隅×ボタンにて終了する

5. 操作説明

5-1. メイン画面



①[SMART]ボタン

SMART 情報の読み込みを開始する。SMART 情報は一定間隔(デフォルトでは 60 分)で定期的に読み込まれる。読み込み間隔は[Parameter]ボタンからパラメータ設定の[SMART read interval[minutes]]にて設定可能。読み込んだ SMART 情報はアプリケーションが存在するフォルダに LOG というフォルダを作り、SMART 情報を読み込んだデバイス毎にテキスト形式で保存される。

SMART 情報読み込み中であっても[SMART]ボタンを押すとそのタイミングで SMART 情報の読み込みが行われる。

②[STOP]ボタン

SMART 情報の読み込みを終了する

③[Parameter]ボタン (無償版では使用できません)

パラメータの設定を行う。設定できるパラメータは以下の 2 つ

- 1.SMART 情報読み込み間隔(10 分~24 時間)。デフォルトは 60 分
- 2.SMART 値比較情報の設定

④SMART 情報表示画面

読み込んだ SMART 情報値が表示される

【表示例】

+ DEVICE IDENTIFY INFORMATION +

- ① 10-19 Serial number: S2ATZ0Q2
- ② 23-26 Firmware revision: KC48
- ③ 27-46 Model number: ST500DM002-1BD142

デバイス情報
 ①シリアル番号
 ②F/W レビジョン
 ③機種名

\$\$inf01=time,19/06/25 11:58:02

\$\$inf02=read count,1

***** S. M. A. R. T DATA Report *****

:::01 1 000Fh 63h 63h 0A 00000025BA90h

:::02 3 0003h 64h 64h 0A 000000000000h

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

:

:::21 241 0000h 64h FDh 0A 00003949003Ch

:::22 242 0000h 64h FDh 0A 0000FDBC7B5Ch

:::0000 0A 00 01 0F 00 63 63 90 BA 25 00 00 00 00 03 03

.....cc..%......

:::0010 00 64 64 00 00 00 00 00 00 00 04 32 00 63 63 95

.dd.....2.cc.

:

:::01E0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 06

.....

:::01F0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 23

SMART 情報 1
 ①属性番号
 ②属性 ID
 ③ステータスフラグ
 ④現在の属性値
 ⑤過去最悪時の属性値
 ⑥閾値
 ⑦生の属性値(RAW データ)

SMART 情報 2
 SMART 情報のダンプデータ(512Byte)

⑤SMART 値比較表示画面

SMART 読み込み開始時の SMART 値と最新の SMART 値との比較結果を表示する。無償版では

ID5 Reallocated Sectors Count

ID194 Temperature

ID196 Reallocation Event Count

ID197 Current Pending Sector Count

の比較結果が表示される。

【表示例】

ST500DM002-1BD142 S/N:S2ATZ0Q2

ID:5 Reallocation Sector Count 000000000000h < 000000000002h

①

②

③

⑤

④

SMART 情報 1

①属性 ID

②属性値の項目名

③SMART 読み込み開始時の属性値(RAW データ)

④最新の SMART 属性値(RAW データ)

⑤比較結果

③と④が等しければ =

③が④より大きければ >

③が④より小さければ <

6. ログファイル

- ・読み込んだ SMART 値がテキスト形式で保存される
- ・ファイルはアプリケーションが存在するフォルダに LOG というフォルダを作り、そこにデバイス毎にテキスト形式で保存される。
- ・ファイル名は SMART 値の読み込み開始時に以下の規則で決定される

SMART_機種名_シリアル NO_time スタンプ. log

① ② ③ ④

- ①固定文字(SMART)
- ②SMART 値を読み込んだデバイスの機種名
- ③SMART 値を読み込んだデバイスのシリアル番号
- ④SMART 値の読み込みを開始した日時情報

【SMART ログファイルの例

ファイル名 : SMART_ST500DM002-1BD142_S2ATZ0Q2_060025_115802.log】

```

+ DEVICE IDENTIFY INFORMATION +
①:10-19 Serial number: S2ATZ0Q2
②:23-26 Firmware revision: KC48
③:27-46 Model number: ST500DM002-1BD142
④:$$inf01=time,19/06/25 11:58:02
⑤:$$inf02=read count,1
***** S. M. A. R. T DATA Report *
::01  1 000Fh 63h 63h 0A 00000025BA90h
::02  3 0003h 64h 64h 0A 000000000000h
⑥      ⑦      ⑧      ⑨      ⑩      ⑪      ⑫
      :
::21 241 0000h 64h FDh 0A 00003949003Ch
::22 242 0000h 64h FDh 0A 0000FDBC7B5Ch
::0000 0A 00 01 0F 00 63 63 90 BA 25 00 00 00 00 03 03 ..... cc. .%
::0010 00 64 64 00 00 00 00 00 00 04 32 00 63 63 95 . dd. ....
      :
::01E0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 06 .....
::01F0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 23 .....

```

デバイス情報

- ①シリアル番号
- ②F/W レビジョン
- ③機種名

SMART 値読み込み情報

- ④読み込み日時
- ②読み込み回数

SMART 情報 1

- ⑥属性番号
- ⑦属性 ID
- ⑧ステータスフラグ
- ⑨現在の属性値
- ⑩過去最悪時の属性値
- ⑪閾値
- ⑫生の属性値(RAW データ)

SMART 情報 2

SMART 情報のダンプデータ(512Byte)